

令和 6 年 4 月 23 日（火）
日進市小中学校適正規模等検討委員会

日進市内学校区人口推計報告書

令和 6 年 4 月

(1) 市内学区児童生徒推計資料

令和 6 年 4 月

1. 本資料における児童生徒数について

本資料は、企画政策課において作成した人口推計を基礎数値として採用しており、基礎数値に各学区の通学率（「3. 市立小中学校への通学率について」を参照）を加味した数値を児童生徒数としている。

2. 小中学校(数)について

平成 20 年度に西小学校から赤池小学校が分離し、平成 25 年度には、中学校では、日進中学校、日進西中学校から日進北中学校が、小学校では、北小学校から竹の山小学校が分離した。現在の日進市内の小学校については、西小、東小、北小、南小、相野山小、香久山小、梨の木小、赤池小、竹の山小の 9 校となっている。また、中学校については、日進中、日進西中、日進東中、日進北中の 4 校となっている。（小中ともに分校除く）

3. 市立小中学校への通学率について

市立小中学校への通学率は、令和 6 年 4 月時点の住民基本台帳による当該学区の人口と、同月の学校在校児童生徒数との比率により算出した。

学校名	通学率（仮定）	計算式：令和 6 年 4 月 1 日時点 児童生徒数/住民基本台帳学区人口
西小学校	99.0%	800 人/808 人
東小学校	98.2%	607 人/618 人
北小学校	96.1%	584 人/608 人
南小学校	98.9%	903 人/913 人
相野山小学校	98.4%	240 人/244 人
香久山小学校	98.1%	788 人/803 人
梨の木小学校	98.4%	728 人/740 人
赤池小学校	99.2%	897 人/904 人
竹の山小学校	100.8%	604 人/599 人※
小学校全体	98.6%	6,151 人/6,237 人

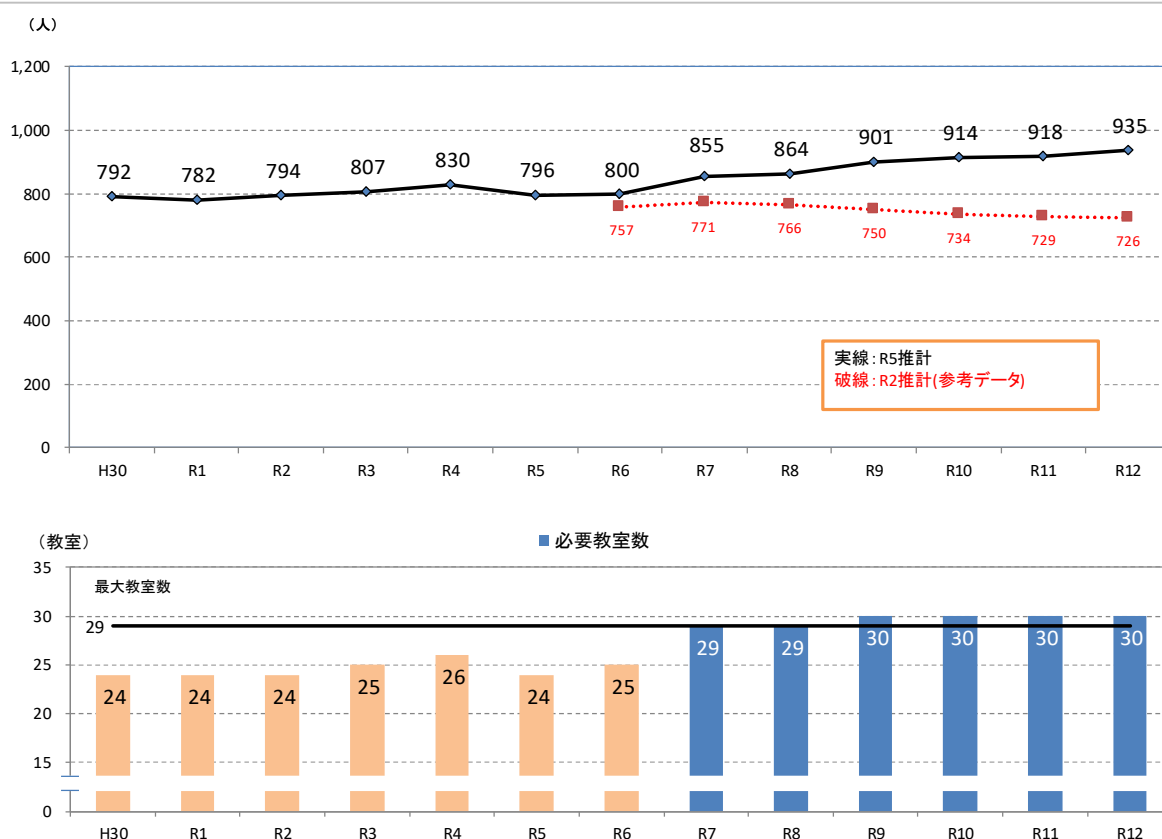
日進中学校	92.0%	726 人/789 人
日進西中学校	88.8%	891 人/1,003 人
日進東中学校	91.2%	706 人/774 人
日進北中学校	93.2%	524 人/562 人
中学校全体	91.0%	2,847 人/3,128 人

※肢体不自由児学級のため区域外通学有

4. 学区別児童・生徒数の推計結果

(1) 西小学校

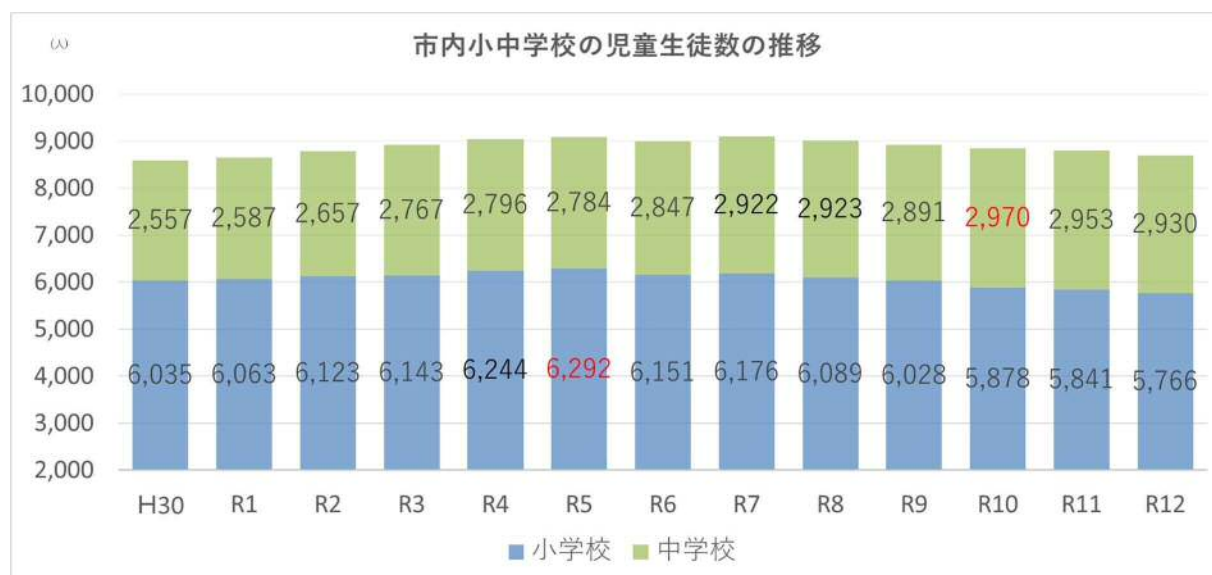
- ・令和5年4月に西小学校区の一部を香久山小学校区へ学区変更した。
- ・児童数は、令和12年度まで増加する見込みである。
- ・学校規模は、大規模が続く見込みである。
- ・教室数は、令和9年度に利用可能教室数を超える見込みである。



学年		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
児童数	1学年(人)	152	122	123	147	155	143	151	149	148	165	155	148	162
	2学年	122	148	123	123	145	134	143	144	151	150	165	158	149
	3学年	137	123	150	124	122	126	141	147	145	151	151	165	158
	4学年	139	134	125	152	126	112	125	144	146	144	150	150	164
	5学年	116	137	134	125	156	126	114	130	144	146	146	150	151
	6学年	126	118	139	136	126	155	126	141	130	145	147	147	151
	合計	792	782	794	807	830	796	800	855	864	901	914	918	935
必要教室数	1学年(クラス)	5	4	4	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5
	2学年	4	5	4	4	5	4	4	5	5	5	5	5	5
	3学年	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5
	4学年	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5
	5学年	3	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5
	6学年	4	3	4	4	4	4	4	5	4	5	5	5	5
	合計	24	24	24	25	26	24	25	29	29	30	30	30	30
利用可能な教室数		29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
教室過不足		+5	+5	+5	+4	+3	+5	+4	0	0	▲1	▲1	▲1	▲1

5. 児童生徒数の推移について

令和 12 年度までの市内全体の児童生徒数の推移は、小学校では、令和 5 年度の 6,292 人がピーク、中学校では、令和 10 年度の 2,970 人がピークを迎える。また、小中全体では、令和 7 年度の 9,098 人がピークとなる。



6. 区画整理による人口増加について

以下の区画整理事業の人口増加については、計画人口を基にした定数増加による上乗せを行っている。

区画整理事業名	施行面積 (ha)	計画人口 (人)	上乗せ開始 年度	計画人口 到達年度
香久山西部 土地区画整理事業	18.05	1,408	令和6年度	令和46年度
日進駅西 土地区画整理事業	6.84	796	令和6年度	令和46年度
(仮)日進北部 土地区画整理事業	27.10	2,054	令和8年度	令和48年度

(2) 利用可能教室数の状況

(令和6年度)

11室

三階平面図

北理科室 5の1 5の2 5の3 5の4 (北館3F)

図工準備室 WC 図工室 6の1 6の2 6の3 6の4 4の1 4の2 4の3 (管理棟3F) (南館3F)

北音楽室 家庭科準備室 音楽科準備室 (北館4F)

図書館 家庭科室 非常階段

二階平面図

3の1 3の2 3の3 3の4 (北館2F)

くすのき3 学年資料室2

事務室 印刷室 WC 職員室 2の1 2の2 2の3 2の4 4の4 (管理棟2F) (南館2F)

南理科室

6室

流水実験場 百葉箱 WC 保健室 桜の木 花たん 図書 倉庫 配膳室 学年資料室(1年) WC ガス置場 東昇降口 児童会室 教室 防災倉庫 一輪車 倉庫 一輪車 練習棒 遊具 プール 高 低 体育器具庫 運動会 倉庫 鉄棒 正門 南駐車場 シイノキ門 にし児童クラブ にし放課後子ども教室

イチョウ門 農機具庫 飼育小屋 水田 畑 ブドウ畑

サクラ門 一階平面図

多目的室1 玄関 応接室 PTA室 職員資料室 中央通路 花壇 倉庫 配膳室 学年資料室(1年) WC ガス置場 東昇降口 児童会室 教室 防災倉庫 一輪車 倉庫 一輪車 練習棒 遊具 プール 高 低 体育器具庫 運動会 倉庫 鉄棒 正門 南駐車場 シイノキ門 にし児童クラブ にし放課後子ども教室

くすのき2 くすのき5 くすのき1 くすのき4

1の1 1の2 1の3 1の4 1の5 (南館)

くすのき3

普通教室利用可能教室

令和6年度
特別支援学級用教室 4室
(内普通教室転用可能数)

校地面積 18,829
校舎面積 5,675
体育館面積 1,211
運動場面積 8,584

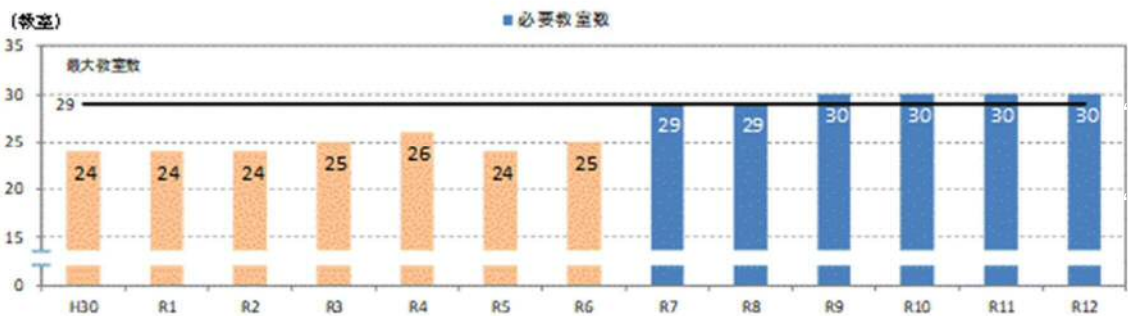
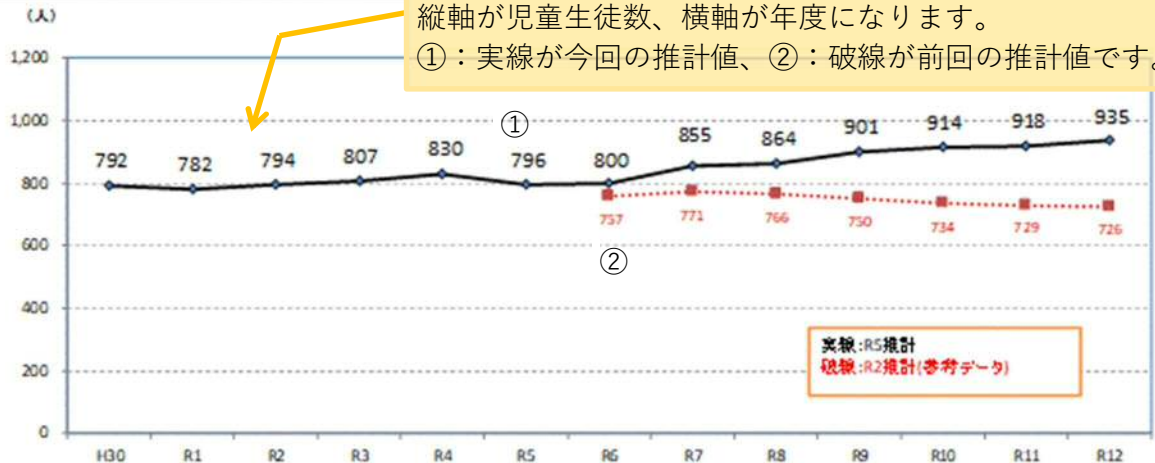
校地面積	18,829m ²
校舍面積	5,675m ²
體育館面積	1,211m ²
運動場面積	8,584m ²

報告書の見方

児童生徒数の推移のグラフです。

縦軸が児童生徒数、横軸が年度になります。

①：実線が今回の推計値、②：破線が前回の推計値です。



	学年	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
児童数	1学年(人)	152	122	123	147	155	143	151	149	148	165	155	148	162
	2学年	122	148	123	123	145	134	143	144	151	150	165	158	149
	3学年	137	123	150	124	122	126	141	147	145	151	151	165	158
	4学年	139	134	125	152	126	112	125	144	146	144	150	150	164
	5学年	116	137	134	125	156	126	114	130	144	146	146	150	151
	6学年	126	118	139	136	126	155	126	141	130	145	147	147	151
	合計	792	782	794	807	830	796	800	855	864	901	914	918	935
必要教室数	1学年(クラス)	5	4	4	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5
	2学年	4	5	4	4	5	4	4	5	5	5	5	5	5
	3学年	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5
	4学年	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5
	5学年	3	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5
	6学年	4	3	4	4	4	4	4	5	4	5	5	5	5
	合計	24	24	24	25	26	24	25	29	29	30	30	30	30
⑦	利用可能な教室数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
	教室過不足	+5	+5	+5	+4	+3	+5	+4	0	0	-1	-1	-1	-1

利用可能教室数と各年度のクラス数（学級数）との比較のグラフです。
縦軸が教室数、横軸が年度になります。

③：黒の実線は、普通教室として利用可能な教室数です。

④：棒グラフは、その年度のクラス数です。

例) R6 年度は、利用可能教室数 29 に対し、25 クラスとなります。

学年ごとの児童生徒数及びクラス数（学級数）の推移の表です。

⑤：学年ごとの児童生徒数です。合計は①と一致します。

⑥：⑤に対応する学年ごとのクラス数です。合計は④（棒グラフの値）と一致します。

合計が、「適正規模及び適正配置に関する基本方針」の適正規模の基準に照らし、大規模校の区分に該当する場合は「黄色」、小規模校の区分に該当する場合は「緑色」で表示しています。

また、40 人学級で算出されている箇所を「水色」で表示しています。

⑦：⑥のクラス数に対し、利用可能教室数との過不足を表しています。